

平成20年度 第1回 奈良県公共事業評価監視委員会 議事概要

1. 日 時 平成20年9月 1日(月) 13時30分～15時20分
2. 場 所 奈良県経済倶楽部 大会議室
3. 出席者
 - ・ 委 員 (敬称略)
三野 徹、前田喜四雄、戸田 清子、柳谷 勝美、藤次 芳枝、
朝廣 佳子(欠席)三浦 晴彦(欠席)
 - ・ 奈良県 土木部長、土木部次長、技術管理課、公園緑地課
 - ・ 市町村 奈良市 橿原市 三郷町
4. 議 事

(1) 奈良県公共事業評価監視委員会について

- 1) 平成20年度 再評価等対象事業の一覧の説明
- 2) 会長の選任(新会長 三野 徹)

(2) 都市公園事業の再評価について

- 1) 都市公園事業 馬見丘陵広域公園の再評価資料の説明
- 2) 馬見丘陵広域公園の再評価に関する審議
各委員から次の事項に関して質疑、意見等があった。
 - ハード事業だけでなく、ソフト事業での活用も御願いたい。
 - 維持管理費用を教えてください。また、どういう管理手法を考えていますか。
→ 馬見丘陵公園で年間約8千万で直営です。予算が年々減少傾向にあるが、今の管理水準を維持したい。
 - 公園事業の目的が、馬見丘陵公園に残る古墳群と自然環境の保全・活用だが、緊急避難時・災害時の位置づけは考えているのか。
→ 公園というのは、非常時にも使っていただける性格のもので、県営の都市公園であっても、市町村が非常時の避難地に指定している場合もあります。本公園も、広陵町・河合町が避難地とする場合もありえます。
 - 今後、丘陵公園を活かした、観光や奈良の歴史文化学習などの具体的なプランはありますか。
→ 毎年3月頃に、歴史講座を行っております。また園内の馬見丘陵公園館では、古墳の紹介をしております。

- この公園に見合った駐車場の確保は行われるのか。
 - 現在700台の駐車場を整備しておりますが、最終的には約900台を確保する予定です。それ以外に緑化フェアの時には臨時駐車場を設ける計画です。
- 3) 意見集約
 - 継続を妥当とする。
 - 進捗率も90%を超えており、緑化フェアを目指して完成していただきたい。
 - その他、利用・活用に配慮していくということで御願います。
- 4) 都市公園事業 古市公園の再評価資料の説明
- 5) 古市公園 再評価に関する審議
 - 各委員から次の事項に関して質疑、意見等があった。
 - 用地取得は90%との事ですが、残り10%の見込みは。
 - 先行取得しており、今年度で用地取得は100%出来ます。
 - 耐震性貯水槽の想定される具体的な使い方はあるか。
 - 40t級の貯水槽で、一時避難された方の3日分の給水をまかないます。
 - 緊急時の仮設トイレの設置はどのように考えていますか。
 - 本公園は歩いていける範囲に設置される近隣公園という位置づけであることから、緊急時のトイレ設置を計画しておりませんでした。地元の要望もあり整備することとしました。
 - B/Cで災害に係る便益が大きくでているが、これは備蓄倉庫、耐震性貯水槽があるからだと思うが、これ以外に何かB/Cが高い理由があるか。
 - 同様の施設が周辺にないことから高齢者の利用が多く見込まれ、ゲートボール場を計画しており、高齢者憩いの場所となる可能性が高く、その便益が利用に係る便益として計上されております。
 - 奈良市全体として、防災公園の整備がまだ均等ではないと思われるが、このことによってB/Cが大きく出ているのではないか。
 - 奈良市は緑の基本計画の中で都市公園が適正に配置されているのかを分析しており、今後、費用対効果などを考え、必要がある箇所に重点的に予算配分していきたい。
 - B/Cが高いというだけで優先順位をつけるのではなく、市全体の配置計画を考えた上で進めてもらいたい。
 - 完成後の維持管理は地元任せなのか。
 - 指定管理者制度が現在主流になっていることも踏まえながら、今後検討していきたい。
- 6) 意見集約
 - 継続を妥当とする。
 - 防災公園ということ配慮し、早期竣工を図っていただきたい。

7) 都市公園事業 檀原運動公園の再評価資料の説明

8) 檀原運動公園の再評価に関する審議

各委員から次の事項に関して質疑、意見等があった。

- 管理について、指定管理者制度の取り組みについてお伺いしたい。
→ 現在檀原運動公園は、檀原市都市施設管理公社が管理を行っておりますが来年度からは民間の指定管理者制度に移行する予定です。
- 指定管理者制度に移行した場合、管理費によって大きくB/Cは変わりますか。
→ 大きくは変わりません。
- 事業進捗上何か課題はありますか。
→ 予算確保以外、特にございません。
- 少子高齢化により利用者が変化してきていると思うが、19年度に追加されている多目的グラウンドの利用計画はどのようなものか。
→ 家族で過ごせる土の広場を計画したものです。災害時には仮設住宅を建てられるように広い広場を確保しています。来年度には備蓄倉庫の設置を計画しており、檀原市南部の防災拠点として位置づけていきたいと考えています。

9) 意見集約

継続を妥当とする。

早急な完成を目指し、事業効果を発揮して下さい。

10) 都市公園事業 三郷中央公園の再評価資料の説明

11) 三郷中央公園の再評価に関する審議

各委員から次の事項に関して質疑、意見等があった。

- 進捗率ですが、かなり時間がかかっておりますが、特に問題となったのは何でしょうか。
→ 用地買収に時間を要したためです。
- 用地買収に時間を要しているのは、買収単価によるものですか。
→ 現在は、事業当初の価格の約半分になっており用地交渉が難航しております。5名の地権者と交渉中です。
- 事業効果で新旧住民の交流拠点になること、とありますがどの程度図られているでしょうか
→ 新旧住民の区別無くプール、スポーツセンター、ゲートボール場などを使用している。
- 用地費が下がっているのであれば、総事業費はどうなっているのか。
→ 若干下がっています。

12) 意見集約

継続を妥当とする。

(3) その他

○会長より、本日の審議内容の確認。

○市町村の審議案件ですが、市町村からの依頼で行っているのか。

→ 各都道府県ともであるが各市町村でこのような審議を行うのは効率が悪く、評価基準が揺らがない為にも、県で委員会を立ち上げ、市町村の評価を行っております。

○同じ事業で、県と市町村での意見の対立が出ないような調整が必要では。

→ 現在そのような事例はありませんが、将来そのような問題が起こらないように整理したいと思います。

○再々評価の案件については、前回評価のわかる簡単な資料があるとよい。